

水の汚れと地球環境について

日本大学藤沢中学校

一年 遠藤 凛

私たちの暮らしに欠かせない水は、地球上のあらゆるところに存在している。私たちは毎日、料理や洗濯、入浴など様々な場面で水を使い、その恩恵を当たり前のように受けている。しかし最近、その大切な水が汚れ、地球全体の環境に大きな影響を与えていることが問題となっている。家庭や工場から流れる排水、農薬を使った農地から流れる水、そして海に捨てられるゴミなど、様々な原因で水は汚れている。私は学校の授業や本で調べるうちに、水を汚すことが生き物の命をおびやかす、私たちの未来にも関わる重大な問題であることを学んだ。この作文では暮らしの中で感じたことや、調べたことをもとに、水の汚れと地球環境のつながりについて考え、自分のできることを見つけていきたいと思う。

私たちの生活の中には、水を汚してしまう原因がたくさんある。たとえば、台所で油を流してしまったり、洗剤をたくさん使ったりすると、汚れた水が川や海に流れていく。また、工場からの排水や農薬を使った畑の水も、自然の水を汚してしまふ。こうした汚れた水は、魚や水鳥などの生き物たちに悪い影響を与え、命を奪ってしまふこともある。水の中の酸素が減ることで、生き物が住みにくい環境になり、川や海の自然なバランスも崩れてしまふ。さらに、汚れた水が海に流れ込むと、海の生き物だけでなく、最終的には人間の暮らしにも影響を与える。海の魚を食べる私たちにとって、海の水の汚れは他人ごとではない。海のプラスチックゴミを食べてしまった魚を、私たちは口にできる可能性もある。水をきれいに保つことは、生き物だけでなく、自分たちの健康や未来を守ることもつながる。

私は、水を汚す原因を知り、それを減らす努力がとても大切だと感じた。

たとえば、洗剤を使いすぎないようにしたり、油を流さずに処理したり、ゴミを川や海に捨てないことを心がけるだけでも、大きな一歩になると思う。学校でも、節

水や水質保護について学ぶ機会を増やし、みんなで水の大切さについて考える時間を持つことが必要だと思った。

そして、未来の地球を守るために、自分自身も行動できる人になりたいと思う。

また、世界にはきれいな水が手に入らず、病気に苦しんでいる人たちもたくさんいることも知った。日本にいとると、水道の水が当たり前に使えるが、それはとても恵まれたことなのだ。ある資料によると、世界では約二十億人もの人々が安全な飲み水を確保できていないという。だからこそ、私たちは水へのありがたみを忘れずに水を汚さず、大切に使うことを意識していかなければならないと思った。

水は、すべての生き物にとって欠かせない命の源である。

私たち一人一人の行動が水を汚す原因にもなり、逆に水を守る力にもなることを、私は調べ学習や体験を通して学んだ。水の汚れは地球全体の環境問題と深くつながっており、放っておけば私たち自身の未来も危うくなる。だからこそ、日々の生活の中で少しずつでも水を大切に使い、汚さない努力を続けることが必要だと強く思う。これからは、自分にできる小さなことを積み重ねながら、周りの人たちにも水を大切にすることを意識を広げていきたい。